



令和2年度は南あわじ市の政策の柱である「五つの行動」を推進し、地域全体が若者のチャレンジや子育てをサポートし、若者の成長・活躍を楽しみながら見守る地域社会を構築することで、若者たちに選ばれる「子育ての喜びが見えるまち」の実現をめざします。
※写真付で事業概要をわかりやすく説明した「事業概要説明書」を市ホームページに掲載しています。右の二次元コードからご覧ください

「五つの行動」

① 超高齢化社会の克服

② 子育て環境の向上と教育の充実

③ 地域の資源を生かした
地元産業の活性化

④ 安全・安心のまちづくり

⑤ 「対話と行動の行政」の
実現によるまちづくり

◆は新規・拡充事業

③ 地域の資源を生かした地元産業の活性化 —食を軸とする淡路島全体の魅力向上—

◆栄養塩供給・底質改善試験事業 1,780万円

河川浚渫土を利用した覆砂工事によって、栄養塩の供給と底質改善を行うとともに、攪拌魚礁を設置して漁場環境の改善を図ります。



◆産業活力アップ起業支援事業 900万円

市内での起業の促進、地域経済の活性化および雇用の確保を図るため、事務所等開設の初期費用や、起業後のランニングコストの一部を補助します。

◆花みどりフェア推進事業 2,912万円

淡路花博20周年記念事業として「花みどりフェア」が開催されます。秋季のメイン会場である淡路ファームパーク・イングランドの丘のほか、市内各所において事業を計画しています。



継続事業

新規就農者支援事業、担い手倍增経営体育成事業、並型魚礁設置事業、にぎわいづくり事業、鳴門の渦潮世界遺産登録推進事業等

④ 安全・安心のまちづくり —防災体制の充実—

排水対策事業 2億2,230万円

高潮や津波浸水軽減対策として、兵庫県が実施する防潮堤や水門等の整備に伴い、高潮時の雨水を効率よく排水するための内水排水対策を並行して実施します。

令和2年度は福良湾周辺の仁尾地区・浜町地区と、三原川周辺の古津路地区の高潮、排水対策工事を図ります。

◆自走式トイレカー整備事業 1,600万円

災害時のトイレ対策として、障がい者等も利用できる自走式のトイレカーを整備します。

自主防災組織等の育成 797万円

自主防災組織の育成のため、防災学習会や自主防災訓練に対し補助を行います。また、大規模災害に備えて、防災士等の育成をめざし、資格取得費用を助成します。



継続事業

治水総合対策事業、災害用避難経路の整備、交通安全対策の充実、道路橋梁等長寿命化事業、空き家対策事業、火葬場建設事業等

⑤ 「対話と行動の行政」の実現によるまちづくり —市民と行政による協働の推進—

地域づくりチャレンジ事業への補助 1,017万円

地域が抱える課題解決に向けて地域住民が具体的に取り組む事業に対して、行政がサポート役となり実現を後押しします。



◆業務改革プロジェクト 1,938万円

職員の能力を発揮し、政策立案および実行力を高め「対話と行動の行政」への転換をめざすため、ペーパーレス会議の推進やRPA^{*}等の導入により、市役所内業務の効率化を図ります。

※RPA…ソフトウェアロボットによる業務自動化の取り組み

◆ふるさと南あわじ応援寄附金事業 3億5,700万円

特産品等を返礼品として贈答することで、地域経済の活性化につなげます。また、地場産業の掘り起こし、効果的なPR、体験型の返礼品の開発により、関係人口とのつながりを強化し、寄附金の増加をめざします。



継続事業

地域コミュニティの支援、技術支援業務の委託、地域福祉拠点づくり・人材育成補助等

① 超高齢化社会の克服 —仕事・社会貢献活動の継続による健康寿命の伸長—

◆高齢者等元気活躍推進事業 2,246万円

シニア世代の人が、人手不足で悩む施設等で行うボランティア活動に対してポイントが付与する「おもしろポイント制度」の運営と、働きやすい環境整備を進める「働くシニア応援プロジェクト」を推進します。



◆市役所窓口利便性向上事業 180万円

歩いて暮らせるまちづくりを進めるため、市役所まで来なくても各種手続きが市民交流センター等で行える仕組みの構築をめざします。



継続事業

町ぐるみ健診事業、障害者相談支援体制の充実、風しん・定期予防接種事業、福祉医療費の助成等

② 子育て環境の向上と教育の充実 —若者に選ばれるまちづくり—

◆スクールチャレンジ事業 635万円

「学ぶ楽しさ日本一」をめざす事業の一環として、各学校が抱える様々な課題に対する主体的な問題解決や、特色ある学校づくりを支援します。



◆多世代同居・近居支援事業 2,000万円

多世代同居・近居をする際の住宅新築または購入、リフォーム工事費用の一部を補助します（補助金額上限100万円）。

◆結婚新生活支援事業 450万円

婚姻による新生活をスタートするための初期費用の一部を支援し、経済的負担を軽減することで結婚・定住促進を図ります。



継続事業

子どもの遊び場づくり事業、マイホーム取得費等の助成、中学生までの医療費無償化、ファミリーサポートセンター事業、淡路人形浄瑠璃の伝承等